簡単だよ、グリップ交換

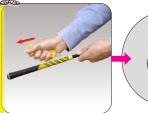
ウッド・アイアン編

グリップには寿命があります。 表面がツルツルになったグリップは 汗や雨ですべりやすく、梅雨や夏場は とても危険です。長年使って表面が カチカチになってしまうとグリップ 時の感触も惡く、しっくりこない。 たとえ使用しなくてもゴムは老化 してしまうので、保管状況や使用 回数にもよるが、グリップの寿命は 約1年を目安に自分で交換してみよう!!





1 古いグリップをカットする





グリップカッターでグリップに 切り込みを入れます。 切込みを入れる際は必ずヘッド側 からバット側に向けて入れて ください。

② 古い両面テープを取り除く



シャフトに残った両面テープをキレイにはがします。 両面テープのカスが残っていると新しいグリップを上手に 装着できません。

はがれにくい場合はドライヤーの熱(カーボンシャ フトは熱に注意)であたためてテープの糊を柔らかく したり、グリップ交換溶液をかけて取り除くと簡単。 最後にグリップ交換溶液でシャフトをキレイに 拭いておきましょう。

カーボンシャフトは端からカーボンの繊維がはがれて くることがあるので、必ずヘッド側からはがすこと!

③ 両面テープを巻く長さを確認する



新しいグリップをシャフトに当てて、両面テープを巻く 長さを確認、赤えんぴつやマジックでマーキングして おきましょう。

🌗 新しい両面テープを巻く



両面テープの巻き方には「らせん巻き」と「たて巻き」が あります。一般的には「らせん巻き」が主流です。 (画像のらせん巻きでは両面テープを約65cm使用します)

グリップの長さより少し短めの位置から貼り始め、 反時計回りとなります。これが基本です。

(5) 両面テープで蓋をする



両面テープが巻けたらセパレーター(裏紙) を剥がし、テープの端でシャフト先端 (切り口/バット側)を完全にふさいでしまい ます。これにより、水や砂の浸入を防ぐ ことができます。

テープのういているところは親指の腹で シワにならないように押さえるとキレイに 貼れます。

⑥ 両面テープに交換溶液を吹き付ける



クラブ側(シャフト)の両面テープ全体に溶液を吹き かけます。この際、吹きかけていない箇所がないよう にしましょう。



誤った使用方法 エアゾール交換溶液は、缶を

横向きや逆さまにして使用 しないでください。 横向きや逆さまでのご使用は ガスだけ出て、中身をきれいに 使い切れなくなってしまい

グリップ内側にも交換溶液を吹き付ける



グリップエンドの穴を指でふさぎ、交換溶液をグリップの なか全体に吹き付けます。



グリップ両はしを塞ぎ、交換溶液が全体にいきわたる ように軽く振ります。



最後の仕上げに...

最後にグリップ内に残った溶液を -プにかけて、再度しみこませて。





手早く一気に差込む

新しいグリップを一気にシャフトに挿入します。(交換 っぷりついていればスルリと入る)挿入の際、 溶液がた

後で簡単にスクエアに直せるよう にある程度まっすぐに入れます。 目安は、シャフト軸のセンターに グリップをスクエアに合わせる。

(9) グリップを自分の好みに合わせる



グリップの向きを確認

バックライン(BL)のあるグリップはバックラインが まっすぐ入るように調整します。バックラインの入り方 により、球筋が変わることがありますので注意して 調整してください。またバックラインのないグリップは 特に入れ方に注意は必要ないですが、マークが正面に くるように調整しましょう。



装着後、10分が勝負!! 交換溶液が乾き始める前に調整を!!

10 グリップの向きを合わせる



キ・レ・イ

実際にグリップして微調整

最後に実際にグリップを握ってみて確認しましょう。 見た目ではなくグリップを握ったときのフィーリング が肝心だからです。

最後に、布に交換溶液をつけてシャフトをキレイに 拭いておきましょう。



グリップの長さもチェック!! 入れる前の長さと変わってしまうと、太さが

変わってしまいます。

挿入後は、24 時間以上放置し十分に乾かしてから使用 してください。

www.golflite.co.jp

簡単だよ、グリップ交換パター編

グリップには寿命があります。

表面がツルツルになったグリップは 汗や雨ですべりやすく、梅雨や夏場は とても危険です。長年使って表面が カチカチになってしまうとグリップ 時の感触も悪く、しっくりこない。 たとえ使用しなくてもゴムは老化 してしまうので、保管状況や使用 回数にもよるが、グリップの寿命は 約1年を目安に自分で交換してみよう!





1 古いグリップをカットする





グリップカッターでグリップに 切り込み**2本**を入れます。

切込みを入れる際は必ず**ヘッド側からバット側に向けて**入れてください

パターグリップは**肉厚のため 切り込みを2本いれる**ことに より、簡単に取り除くことが できます。

② 古い両面テープを取り除く



シャフトに残った両面テープをキレイにはがします。 両面テープのカスが残っていると新しいグリップを上手に 装着できません。

はがれにくい場合はドライヤーの熱(カーボンシャフトは熱に注意)であたためてテーブの糊を柔らかくしたり、グリップ交換溶液をかけて取り除くと簡単。最後にグリップ交換溶液でシャフトをキレイに拭いておきましょう。

カーボンシャフトは端からカーボンの繊維がはがれてくることがあるので、必ずヘッド側からはがすこと!

3 両面テープを巻く長さを確認する



新しいグリップをシャフトに当てて、両面テープを巻く 長さを確認、赤えんぴつやマジックでマーキングして おきましょう。

4 新しい両面テープを巻く



両面テープの巻き方には「らせん巻き」と「たて巻き」があります。一般的には「らせん巻き」が主流です。 (画像のらせん巻きでは両面テープを約65m使用します)

ちょい太にする場合は両面テープを 2 回巻くこと で約 0.5 m程、太くなります。

その違いを感じない人はほとんどいない

(5) 両面テープで蓋をする



両面テーブが巻けたらセパレーター(裏紙)を剥がし、テーブの端でシャフト先端(切りロバット側)を完全にふさいでしまいます。これにより、水や砂の浸入を防ぐことができます。

よくマーカーを挿している人がいるがあれは 間違い。テープが巻けたらカバーを剥がし ましょう。

テーブのういているところは親指の腹で シワにならないように押さえるとキレイに 貼れます。

6 両面テープに交換溶液を吹き付ける



クラブ側(シャフト)の両面テープ全体に溶液を吹きかけます。この際、吹きかけていない箇所がないようにしましょう。



誤った使用方法

エアゾール交換溶液は、**缶を横向きや逆さまにして使用しない**でください。 横向きや逆さまでのご使用は ガスだけ出て、中身をきれいに 使い切れなくなってしまい ***

7) グリップ内側にも交換溶液を吹き付ける



グリップエンドの穴を指でふさぎ、交換溶液をグリップの なか全体に吹き付けます。



グリップ両はしを塞ぎ、交換溶液が全体にいきわたる ように軽く振ります。

最後の仕上げに...



最後にグリップ内に残った溶液を テープにかけて、再度しみこませて。

グリップを入れる「グリップスターターを使う」



今回はグリップスターターを使ってグリップをシャフト に挿入します。はじめにグリップ開口部にスターターを 差込みます。



グリップスターターはグリップ 交換が初めての方でも安全・ 確実にグリップ交換ができる ようにしたグリップ挿入用の ガイドです。



シャフトの先端がグリップに入ったところでスターターを ヘッド寄りに移動して外してから、グリップを最後まで 挿入してください。その後、一気にシャフトに挿入 します。(交換溶液がたっぷりついていればスルリと 入る)挿入の際、後で簡単にスクエアに直せるように ある程度まっすぐに入れておきます。

目安は、シャフト軸のセンターにグリップをスクエアに 合わせること。

🧐 グリップの向きを合わせる



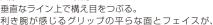
パターグリップの平らな面を頼りにスクエアになるよう 調整します。





グリップの長さもチェック!! 入れる前の長さと変わってしまうと、太さが 変わってしまいます。

実際にグリップして微調整



利き腕が感じるグリップの平らな面とプエイスが、 目をつぶってかまえても垂直になるようにします。

乾燥

挿入後は、24 時間以上放置し十分に乾かしてから使用 してください。



www.golflite.co.jp

どこに貼ったらいいのか?

45 インチ(ドライバー)に 1g で 0.6 ポイント 38 インチ(アイアン)に 1g で 0.5 ポイント アップします。

(上記のポイントはクラブの仕様により異なります)

- ●フックを抑える
- ●ひっかけを抑える
- ●ヒールに貼るより重さを感じる





ヘッドを軽くしたい!!

グリップ側シャフト。ヘッドが軽く感じ、振りやすく振り抜けが良くなる。しかし、貼りすぎはタイミングが取りにくくなるので 5gまで!!

【フェアウェイウッド】

バックフェースのなるべく低い位置に貼るとボ ールが上がりやすくなります。

【アイアン】

ショートアイアン — 球筋を安定させたい!! バックフェースのソール よりのトゥ側。



ロングアイアン 高い球を打ちたい!! バックフェースのソール よりのヒール側。

ロングアイアン フケ球をなくしたい!! バックフェースのホーゼル よりのヒール側。 高弾道で球筋が安定する。



なぜ?? なぜ、スライスとフック昔と貼る位置が逆なの? スライス防止にトゥ側に貼っていた鉛 ... 最近はなぜヒール側に貼るの?

トゥ側に鉛を貼って先端を重くすることでトゥが先行してスライスを防止していたのが昔の話。

パーシモンヘッドなどのヘッド体積が 200cc 以下の慣性モーメント (※1) が小さいクラブには効果がありますが、最近のヘッド (300cc 以上) は慣性モーメントが大きく重心距離が長いのに加え長尺シャフトのためインパクトでトゥが遅れてしまいボールが右に飛びやすいためトゥに鉛を貼ってしまうとかえってヘッドが重くなりすぎてトゥ側のもどりが遅れてしまうのでヒール側に鉛を貼り軽いトゥを先行させ、なおかつトゥダウンを防ぐことでスライスを防止させるわけです。

- (※1) 慣性モーメント: 物体は外からの力が加わらないかぎり、その運動状態を持続する性質があります。この性質を「慣性」といい、回転に関するその大きさを「慣性モーメント」といいます。
- (※2) 重心深度: リーディングエッジから重心までの水平方向の距離。重心深度が深いとスウィートスポットが広くなる。
- (※3) 重心距離:シャフトの中心線から重心までの距離